

頂への執念で真価示し復権せよ

同志社アトム

裏面
ラグビー部
史上初の
2大体制
主将特集

Doshisha Sports アトム
令和3年(2021) ラグビー特集号
11/30 火曜日
発行人 村上善孝
編集人 松村 孝
http://doshisha-atom.net/

試合前に陣中を組む選手たち
【切り込み写真】
立命館大で
敵を突破する木原(スポ4)



2021
山口大学ラグビー
Aリーグ
12/4 14:00
対天理大
●たけびしスタジアム京都

Aリーグ順位表
(11月30日時点)

順位	大学名	勝	敗	同点
①	近大	6	1	29
②	京産大	6	0	27
③	同志社	4	2	21
④	天理大	4	2	20
⑤	立命大	3	4	14
⑥	關大	2	5	10
⑦	摂南大	1	6	6
⑧	廣学大	0	6	3

▶POMとは?
プレーヤー
オブザマッチの
略。勝利チームの
中で最も活躍した
選手に贈られる。

▶紺グレの由来
同志社大学ラ
グビー部のユニホームは紺
とグレー。この色は創部以
来変わらず同志社の象徴と
なっている。伝統の「紺グ
レ」に袖を通すことは、部員
の誇りであり憧れ
だ。

▶伊藤HCのコメント
「日本一のチャン
スはまだ残っている。日本一と
いう経験をする事で人生も変
わるし、視点も変わったりする。本
当にそういった経験をさせてあげた
いなと思うし、僕自身もしたい。勝
つというのはすごいことだと思
うので、それが日本一という形で
表れればいいなと思いま
す」。

ついに迎えた決戦

第11代紺グレの闘志が燃える

9月18日	対関大	15-8
10月9日	対近大	0-24
10月17日	対立命大	42-0
11月20日	対京産大	68-0
11月27日	対天理大	19-22
12月3日	対廣学大	45-5

大学選手権に向け弾みをつける



三位一体で突き進む
BKの主力選手である
4年生の3人組。下級生
の頃からハイレベルな環
境で経験を積み、ともに
成長してきた。
スティックな稲吉、盛
を信じ、頼り合うことで
息の合ったプレーを披
露。幾度となく敵を圧倒
してきた。「3人で盛り
上げられるように」(和
田)。磨き上げてきた独
自の絆を武器に、「日本一」
のBKを形成する。

敗北の味
選手権へ。頂点を狙う
同志社ラグビーは、今
シーズン初の敗戦を
喫した。初戦は関大を完
全に抑え込み、関大1位選
手権を獲得した。しかし、
関大は関大の強さを
示した。関大は関大の
強さを示した。関大は
関大の強さを示した。

選手中核で
日本一への挑戦は止まら
ない。同志社ラグビーは、
今シーズン初の敗戦を
喫した。初戦は関大を完
全に抑え込み、関大1位選
手権を獲得した。しかし、
関大は関大の強さを
示した。関大は関大の
強さを示した。

LINK
「同志社ラグビー部
の日本一は目標ではなく、
使命であり責任である」
第一代はこの言葉と
ともに闘志を込め、立ち上
がった。大学選手権3連覇
や数々のレジェンドの輩出
など、これまで日本の大学
ラグビーを彩ってきた紺グ
レ。しかし、そのような輝
かしい姿は近年、影を薄め
ている。

LINK
「同志社ラグビー部
の日本一は目標ではなく、
使命であり責任である」
第一代はこの言葉と
とともに闘志を込め、立ち上
がった。大学選手権3連覇
や数々のレジェンドの輩出
など、これまで日本の大学
ラグビーを彩ってきた紺グ
レ。しかし、そのような輝
かしい姿は近年、影を薄め
ている。

石錠会は
同志社アスリートを
応援しています。

毎週火曜日の整形外科外来は、
同志社大学スポーツ健康科学部
教授の北條達也先生が診察を
担当されています。

医療法人社団 石錠会
救急告示病院
臨床研修協力病院

京都田辺中央病院

TEL 0774-63-1111

〒610-0334
京都府京田辺市田辺中央六丁目1-6
(近鉄新田辺駅から徒歩1分 JR京田辺駅から徒歩3分)
https://www.sekitetsukai.kyoto
石錠会facebookページはこちら

使命であり責任
日本一を目指すことは必然だった
結果だけを見て、
彼らを「弱くなった」と言う人もいる
それでも、私たちは知っている
紺グレに染みた人知れない血、汗、涙
復権への覚悟
だから、私たちは信じている
彼らは歴史を変えてくれると
ともに戦おう、栄光をつかむために
見に行こう、頂点の景色を

Follow us on Instagram
@atom_doshisha

2-3面
選手紹介

4-5面
Aリーグ
ジュニア
回顧録

6-7面
企画面

8面
スタッフ紹介

新たな歴史を刻む時
紺グレの勇姿を見逃すな

- PR 山本敦輝 (Yamamoto Atsuki)
- PR 李 優河 (Ri Yu-wo)
- PR 西口聖一郎 (Nishikage Sei-ichiro)
- PR 杉山左門 (Sugiyama Saimon)
- HO 谷本卯楽 (Tanimoto Utsuraku)
- HO 西濱悠太 (Nishihama Yuta)
- LO 小菅由一郎 (Kosuge Yu-ichiro)
- LO 依藤隆史 (Ei Tomohisa)
- FL 小島雅登 (Kojima Masataka)
- FL 馬渡仁之祐 (Urawa Nin-yoku)
- FL 梁本旺義 (Ryomoto Tsuyoshi)
- SH 新和田鏡 (Niwa Kyo)
- SH 嘉納一千 (Kanoda Sen)
- CTB 西村海音 (Nishimura Minami)
- CTB 大森広太郎 (Oomori Hirota)
- CTB 岡岡治輝 (Okano Chiaki)
- CTB 岡野喬吾 (Okano Takayasu)
- WTB 和田悠一郎 (Wada Yu-ichiro)
- WTB 稲吉溪太 (Inagaki Keita)
- FB 山口楓斗 (Yamaguchi Fudo)
- FB 芦塚仁 (Asahira Ni)

重戦車いざ出陣

西口の魅力はスピード感... 西口の魅力をスピード感... 西口の魅力をスピード感...

山

山... 山... 山...

猛進せよ

1年生の頃からジュニアリーグで奮闘し、今シーズンからメンバー入り... 1年生の頃からジュニアリーグで奮闘し、今シーズンからメンバー入り...

不屈の精神で挑む

大学4年最後の大会... 大学4年最後の大会... 大学4年最後の大会...

奮起を促せ

一瞬のジャッカルチャンスも見逃さない... 一瞬のジャッカルチャンスも見逃さない...

熱き操舵手

アウトのスローイングが、その後のアタックにつながる重要な役割を担うため... アウトのスローイングが、その後のアタックにつながる重要な役割を担うため...

豪傑

豪傑... 豪傑... 豪傑...

センス光る巨漢

同期で最初伝統のユニホームに袖を通した... 同期で最初伝統のユニフォームに袖を通した...

神の足

神の足... 神の足... 神の足...

天空の覇者

1度のタックルで流れを変える男... 1度のタックルで流れを変える男...

不撓不屈

百戦錬磨の豪傑(いまだ)WTBが自慢の足と強い... 百戦錬磨の豪傑(いまだ)WTBが自慢の足と強い...

特攻の槍

ボールを持って、果敢に仕掛けた... ボールを持って、果敢に仕掛けた...

密集戦若き柱

H0への転身からわずか6ヵ月... H0への転身からわずか6ヵ月...

密

密... 密... 密...

戦場震わす猛者

戦場震わす猛者... 戦場震わす猛者...

豪傑

豪傑... 豪傑... 豪傑...

和

和... 和... 和...

豪傑

豪傑... 豪傑... 豪傑...

同志社の誇り胸に不屈の闘志を燃やせる

速攻のSH

速攻のSH... 速攻のSH... 速攻のSH...

西村海音

西村海音... 西村海音... 西村海音...

木原

木原... 木原... 木原...

天空の覇者

天空の覇者... 天空の覇者... 天空の覇者...

和

和... 和... 和...

豪傑

豪傑... 豪傑... 豪傑...

盤石の精鋭

ラグビーの伝統校である常務学園高校... ラグビーの伝統校である常務学園高校...

山本敦輝

山本敦輝... 山本敦輝... 山本敦輝...

不撓不屈

不撓不屈... 不撓不屈... 不撓不屈...

特攻の槍

特攻の槍... 特攻の槍... 特攻の槍...

和

和... 和... 和...

豪傑

豪傑... 豪傑... 豪傑...

A-LEAGUE PLAYBACK



試合、折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間

75-0

第1節 9月19日 対東大

開戦からわずか10分で、折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、75-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

68-0

第6節 11月20日 対東大

折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

45-5

第4節 10月30日 対東大

折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、45-5という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

天理大戦力分析

天理大の戦力分析。昨シーズンは、主将の日向(天理大)と、副将の山崎(天理大)が活躍し、チームを牽引した。今年もこの2人が活躍し、チームを牽引する。また、折原(天理大)と西谷(天理大)も活躍し、チームを牽引する。

力の差見せつけ完封

前節の敗戦から一転、68-0で28分に完封した。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

接点の勝負で我慢できず

接点の勝負で我慢できず、前半10分でゴールを奪った。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

最大の逆襲

最大の逆襲。後半開始直後、反則からPGで同点に追いつかれる。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

接点の勝負で我慢できず

接点の勝負で我慢できず、前半10分でゴールを奪った。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

後半真価見せ同立戦制す

後半真価見せ同立戦制す。前半10分、ボールを受け取ったWTB和田がラインを突破し、SG高橋にパス。左陣へ飛び込み、先制点を奪った。前半を7-7と同点で折り返し、迎えた後半戦、ハーフタイムでの修正が勝利への鍵となった。開始早々、F山口はゴールを脅かす。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

漆黒の壁 打ち砕け



試合、折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間

漆黒の壁 打ち砕け

漆黒の壁を打ち砕け。前半10分、ボールを受け取ったWTB和田がラインを突破し、SG高橋にパス。左陣へ飛び込み、先制点を奪った。前半を7-7と同点で折り返し、迎えた後半戦、ハーフタイムでの修正が勝利への鍵となった。開始早々、F山口はゴールを脅かす。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

接点の勝負で我慢できず

接点の勝負で我慢できず、前半10分でゴールを奪った。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

最大の逆襲

最大の逆襲。後半開始直後、反則からPGで同点に追いつかれる。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

接点の勝負で我慢できず

接点の勝負で我慢できず、前半10分でゴールを奪った。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

後半真価見せ同立戦制す

後半真価見せ同立戦制す。前半10分、ボールを受け取ったWTB和田がラインを突破し、SG高橋にパス。左陣へ飛び込み、先制点を奪った。前半を7-7と同点で折り返し、迎えた後半戦、ハーフタイムでの修正が勝利への鍵となった。開始早々、F山口はゴールを脅かす。折原(左)と西谷(右)が競り合う瞬間。折原はゴールキーパーとして活躍し、西谷はドリブルでゴールを脅かす。試合は折原の活躍で決着し、68-0という大差で勝利した。

1	高橋	2	佐藤	3	金山
4	山崎	5	山本	6	山田
7	山根	8	山崎	9	山田
10	山根	11	山崎	12	山田
13	山根	14	山崎	15	山田

出場選手一覧

- PR(ロック) 山本 教輔 (178P・102L)
- 山本 教輔 (178P・102L)
- 李 優河 (180P・108L)
- 西口 聖一郎 (179P・107L)
- 杉山 左門 (175P・103L)
- 谷本 卯葉 (165P・90L)
- 西濱 悠太 (177P・92L)
- 小宮 由一郎 (185P・104L)
- 南 光希 (182P・102L)
- 依藤 隆中 (180P・99L)
- 小島 雅也 (174P・82L)
- 馬渡 仁之祐 (179P・93L)
- 梁本 旺義 (180P・92L)
- 木原 音羽 (184P・93L)
- 田村 海音 (172P・84L)
- 大森 広太郎 (181P・90L)
- 倉岡 治輝 (174P・83L)
- 和田 悠一郎 (178P・85L)
- 吉 龍吉 (174P・86L)
- 山口 楓斗 (167P・75L)
- 岸塚 仁 (178P・92L)



同志社スポーツアトム編集局は 体育会スポーツを応援しています

白星奪取



48-14

10/10 対近大

近大が白星奪取に成功。開幕戦から、ハンタリー精神でAチームの選手を奮い立たせてきた。第111代の健闘の影には彼らの奮闘がある。常に上向き、紺グリの底上げを図る選手たちの勇姿を振り返る。

「Aチームが負けてもう一度は上がるには、ジュニアからの底上げが大事と捉えて来た(SO市川)。Aリーグで今季初の敗北を喫したこともあり、グラウンドにはいつも真意をこめて練習してきた選手たち。最初こそ選手たちをつかんだのは悔しかった。前半12分、敵陣深くまで突進。そのまっすぐなパスを押し進め、先制トライを決めた。さらに市川のスペースをうまく使ったキックをWTB江口がキャッチ。5点を追加。10-0と点差を広げた。しかし、近大も黙ってはいない。同33分、味方同士のパスが繋がらず、近大から近大のボールが渡ってしまふ。そのまま力強いラン

Aリーグの借り返した

「僕らの強みであるブレイクダウンのところでディフェンスしてボールを獲得し、しっかり攻めることができたのがよかった(CTB倉岡)。チームのこだわりが顕著に表れ、確かな手応えを得た。

星に貢献。次戦にはAリーグにメンバー入りを果たし、待望の復活を遂げた。

福吉が4カ月ぶりに足首の怪我を乗り越え、復帰戦を飾った。後半7分から交代で出場し、持ち前のフィジカルとスピードで圧倒する。計3トライを挙げ、白星に貢献。次戦にはAリーグにメンバー入りを果たし、待望の復活を遂げた。

ジュニアが底上げ図る

開幕戦制す9/19対関大

プレイングダウンで相手B陣ノックアウトが中央を突破し、フォローしたCTB大橋がインゴール。同31分にも点を奪い、さらにリードを広げた。

後半戦、同志社が先にスコアを伸ばす。後半はFWR坂本がボールを受け、そのまま走り込み先制トライを挙げた。しかしその後、自陣で反則を取られ、FWR坂本がゴールを奪った。接点で関大に勝ったことで、後半主導権を握り、初陣を白星で飾った。

順位	大学名	勝	敗	計
①	天理大	6	0	29
②	同志社	5	1	26
③	近大	4	2	21
④	京産大	3	2	15
⑤	関立命大	3	4	15
⑥	関学大	1	1	4
⑦	関学大	1	1	4
⑧	摂南大	1	5	6

出場選手一覧

PR(プロップ)

たけもと たくま 1767・98
館本 大樹 1767・98
上野 大樹 1817・117
野田 大樹 1697・91
鈴木 康生 1707・91
大山 卓真 1687・86

LO(ロック)

土蔵 万寛 1817・96
平本 宏樹 1817・88
鈴木 康生 1807・82

FL(フランカー)

向井 竜平 1637・86
石井 伶央 1787・88

NO8(ナンバーエイト)

久保 太陽 1837・95
土室 晋生 1777・87
奥平 都太郎 1737・86
市川 亮太 1737・85

WTB(ウィング)

岡野 高吾 1837・95
大橋 健人 1737・81
谷川 司 1777・87

FB(フルバック)

野口 大介 1777・81
坂本 空夏 1707・79

10/24 対立命大

立命館大BK(グリーンフィールド)を相手に、圧倒的な実力差を見せつけた。前半から自分たちのペースで試合を進めた。前半10分、WTB福吉のパスをキャッチしたCTB倉岡が、左サイドからCTB倉岡が独走トライ。この得点を皮切りにペースをつかみ、立命館大のシンビンも終

70-5

得点のディフェンスでは大きな敵に前もって止めることなく、確かな状況判断で自身の役割を全うする。

10/31 対摂南大

2年生の選手が活躍し、主導権を握った。前半から自分たちのペースで試合を進めた。前半10分、WTB福吉のパスをキャッチしたCTB倉岡が、左サイドからCTB倉岡が独走トライ。この得点を皮切りにペースをつかみ、立命館大のシンビンも終

76-7

後半戦、同志社が先にスコアを伸ばす。後半はFWR坂本がボールを受け、そのまま走り込み先制トライを挙げた。しかしその後、自陣で反則を取られ、FWR坂本がゴールを奪った。接点で関大に勝ったことで、後半主導権を握り、初陣を白星で飾った。

開幕戦制す9/19対関大

プレイングダウンで相手B陣ノックアウトが中央を突破し、フォローしたCTB大橋がインゴール。同31分にも点を奪い、さらにリードを広げた。

後半戦、同志社が先にスコアを伸ばす。後半はFWR坂本がボールを受け、そのまま走り込み先制トライを挙げた。しかしその後、自陣で反則を取られ、FWR坂本がゴールを奪った。接点で関大に勝ったことで、後半主導権を握り、初陣を白星で飾った。

順位	大学名	勝	敗	計
①	天理大	6	0	29
②	同志社	5	1	26
③	近大	4	2	21
④	京産大	3	2	15
⑤	関立命大	3	4	15
⑥	関学大	1	1	4
⑦	関学大	1	1	4
⑧	摂南大	1	5	6

注目選手

久保 太陽 1837・95
土室 晋生 1777・87
奥平 都太郎 1737・86
市川 亮太 1737・85

手汗握る辛勝

前日のAリーグでの完封勝利の勢いに乗り、関学大戦。立ち上がりは苦しんだものの、着実に点を重ね勝利を手にした。序盤の主導権は関学大に握られ、何度もゴール前で止められるも、FWR降の壁い守りで抑え込む。チャンスが訪れたのは前半14分、相手のミスからボールを奪うと、NO8久保が先制点を奪取した。このトライで弾みをつけたチームは同17

11/21 対関学大

関学大も黙っていない。一時の隙を狙われるとトライを決められ同点に追いつかれる。その後、24-19で粘り勝ち。激しい攻防戦を制した。次戦の対天理大がリーグ最終戦となる。「同志社らしいラグビーで絶対に勝ちたい(CTB倉岡)。最後まで気を緩めることなく戦い抜く。

注目選手を大公開

コートに出るといつも市川の声が響く。司令塔の役割を果し、試合でも一層目立った存在だ。

久保 太陽 1837・95
土室 晋生 1777・87
奥平 都太郎 1737・86
市川 亮太 1737・85

打倒天理

黒衣軍団とも呼ばれる天理大は敵の死角を突く技巧と運動量を生かすラグビースタイルを持つ。スクラムでは低くまとまった塊を形成。他にも防衛の背後をすすパス、集束のスピード、持久力、敵の下半身へ突き刺さるアタックでも光る。今季ジュニアリーグでも無敗。天理の猛威を止められるものはいなかった。一昨年に対戦した際は、序盤からプレッシャーに押され惨敗。攻撃では厚い壁に足止めを食らい、前進することさえできなかった。



12/5 対天理大

黒衣軍団とも呼ばれる天理大は敵の死角を突く技巧と運動量を生かすラグビースタイルを持つ。スクラムでは低くまとまった塊を形成。他にも防衛の背後をすすパス、集束のスピード、持久力、敵の下半身へ突き刺さるアタックでも光る。今季ジュニアリーグでも無敗。天理の猛威を止められるものはいなかった。一昨年に対戦した際は、序盤からプレッシャーに押され惨敗。攻撃では厚い壁に足止めを食らい、前進することさえできなかった。

全勝逃した

一敗は逃がした。守りたい同志社。勝点を逃がした。善戦の後は、一進一退の戦いの中、「耐えろ」に励まされて、多かつた攻撃が続いたが、26という数字が響き渡り、33-17という点差に。勝利が目の前に41となったところで、試合を折り返した。後半は同志社が先制トライを挙げた。しかしその後、自陣で反則を取られ、FWR坂本がゴールを奪った。接点で関大に勝ったことで、後半主導権を握り、初陣を白星で飾った。

順位	大学名	勝	敗	計
①	天理大	6	0	29
②	同志社	5	1	26
③	近大	4	2	21
④	京産大	3	2	15
⑤	関立命大	3	4	15
⑥	関学大	1	1	4
⑦	関学大	1	1	4
⑧	摂南大	1	5	6



いざ起て友よ 勝利は待てり

白熱の意気 敵なし



進化する古豪

Doshisha

最大の特色は、何と言ってもBKの躍進だ。昨シーズンの代表経験があるB山口、WT B和田、WT B和田を筆頭に、生田指のスピード、パスを受け取った瞬間にキープする、キレのあるステップで営業をすり抜けて相手

最大の特色は、何と言ってもBKの躍進だ。昨シーズンの代表経験があるB山口、WT B和田、WT B和田を筆頭に、生田指のスピード、パスを受け取った瞬間にキープする、キレのあるステップで営業をすり抜けて相手



堅固な組織力

Meiji

3年ぶりの全国制覇を達成したMeijiは、昨シーズンの全国大会で敗れた。しかし、その敗戦は、チームの成長の機会となった。今シーズンは、チームの組織力をさらに強化し、全国制覇を目指している。



強豪ひしめく! いざ選手権へ

ジャパンは赤×白

ラグビー日本代表のユニホームは、赤と白のボーダーで日本国旗をほうふつとさせるデザインだ。ラグビーでは左胸に国を代表する動物をデザインすることがあり、日本は桜のエンブレム

があしらわれている。これにちなんで、日本代表は「ブレイブ Blossoms」という愛称で親しまれているんだ!

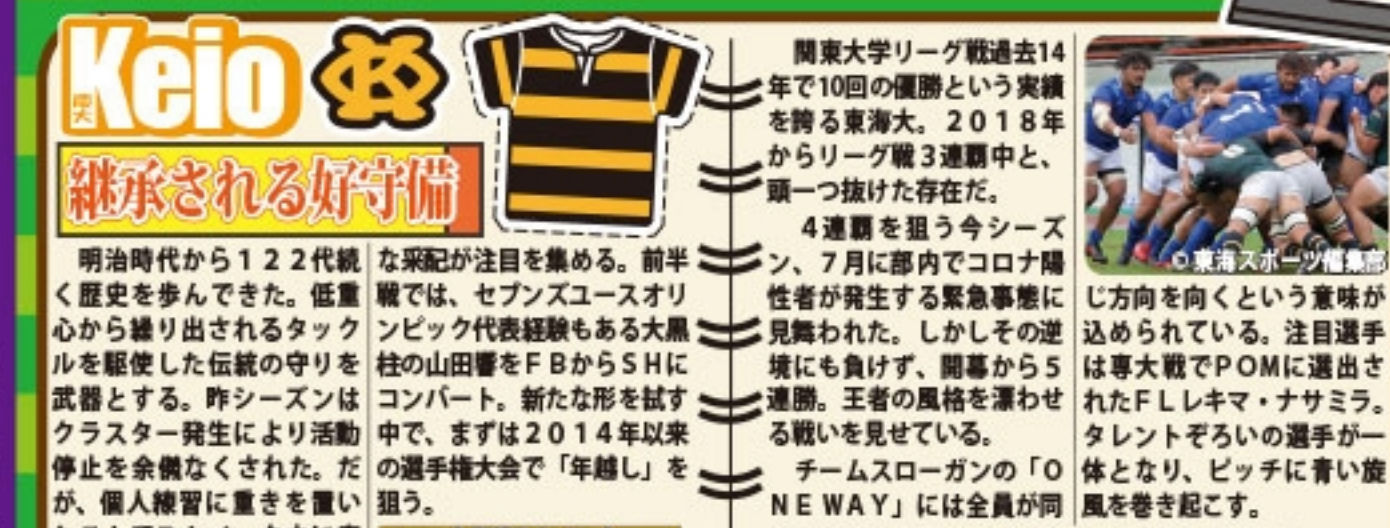
暫定1位帝京大 (11/30更新)

順位	学校	勝	敗	引	得点	失点
1	帝京大	10	2	0	145	60
2	立教大	8	4	0	120	70
3	早稲田大	7	5	0	110	80
4	明治大	6	6	0	100	90
5	慶応大	5	7	0	90	100
6	東洋大	4	8	0	80	110
7	法政大	3	9	0	70	120
8	駒澤大	2	10	0	60	130
9	清泉大	1	11	0	50	140
10	東海大	0	12	0	40	150



Waseda 強者の風格

今季から大田監督を迎え、主将長田隼一は、新体制から黒と赤のユニホームを着用し、チームのカラーを一新した。主将長田は、昨シーズンの全国大会で敗れたが、今シーズンは、チームの組織力をさらに強化し、全国制覇を目指している。



Keio 継承される好守備

明治時代から122代続いた歴史を誇るKeioは、昨シーズンの全国大会で敗れた。しかし、その敗戦は、チームの成長の機会となった。今シーズンは、チームの組織力をさらに強化し、全国制覇を目指している。



Teikyo 挑戦者

4年ぶり10度目の頂点へ。昨年の対抗戦を4位で終えたTeikyoは、今シーズンは、チームの組織力をさらに強化し、全国制覇を目指している。

定期購読募集中

週マガ × SPORTS BULL

新作スポーツマンガ、続々新連載開始!!

週刊少年マガジン × SPORTS BULL

冒頭話 いつでも 無料!

漫画アプリ マガジンポケット

スポーツアプリ スポーツブル

私たちは同志社スポーツを応援しています

<p>同志社スポーツユニオン</p> <p>会長 豊原 洋治</p> <p>○昭和39年法学部卒 ○バドミントン部OB</p>	<p>同志社スポーツユニオン副会長 同志社スポーツユニオンOB・OG会長会議議長 山科精機株式会社</p> <p>代表取締役 会長 大日 常男</p> <p>○昭和45年商学部卒 ○山岳会会長</p>	<p>同志社校友会愛知支部長 同志社スポーツユニオン 副理事長・東海</p> <p>支部長 小栗 成男</p> <p>○昭和62年商学部卒 ○ゴルフOB・OG会長</p>	<p>大西建設株式会社 Onishi Kensetsu Co.,Ltd</p> <p>代表取締役 大西一二 (昭和52年商学部卒) (ラグビー部会長)</p> <p>取締役 大西英一 (平成15年商学部卒) (ラグビー部OB)</p> <p>大西建設株式会社 〒545-0005 大阪市阿倍野区二丁目2番8号 TEL:06(662)-5179(代) FAX:06(662)-2033 Email: 12@onishi.co.jp http://www.onishi.co.jp/</p>	<p>同志社スポーツユニオン最高顧問 株式会社キョーライト 株式会社キョーテック</p> <p>代表取締役 会長 佐野 修弘</p> <p>○昭和36年商学部卒 ○柔道部OB</p>
<p>同志社大学体育会ラグビー部部長 同志社大学政策学部総合政策科学研究科</p> <p>教授 川口 章</p>	<p>同志社大学政策学部</p> <p>教授 川井 圭司</p> <p>○平成5年法学部卒 ○ラグビー部OB</p>	<p>乾商事株式会社</p> <p>代表取締役 会長 乾 好</p> <p>○昭和30年経済学部卒 ○山岳部OB</p>	<p>同志社スポーツユニオン</p> <p>相談役 宮川 勝也</p> <p>○昭和40年経済学部卒 ○陸上競技部OB</p>	<p>同志社大学スポーツ健康科学部 同志社大学体育会アメリカンフットボール部</p> <p>部長 北條 達也</p>
<p>同志社ラグビークラブ東京支部</p> <p>支部長 出石 賢司</p> <p>○昭和53年経済学部卒 ○ラグビー部OB</p>	<p>同志社大学体育会ラグビー部理事 同志社スポーツユニオン</p> <p>監事 近藤 千晴</p> <p>○平成1年文学部卒</p>	<p>パナソニック株式会社</p> <p>専務 執行役員 柴田 雅久</p> <p>○昭和55年工学部卒 ○フェンシング部OB・OG会長</p>	<p>同志社大学商学部</p> <p>太田原ゼミ一同</p> <p>○同志社スポーツを 応援いたします</p>	<p>同志社大学</p> <p>体育会本部</p> <p>○同志社スポーツを 応援いたします</p>
<p>同志社大学体育会硬式野球部部長 同志社大学法学部法律学科</p> <p>教授 岡田 幸宏</p>				

<体育会新本部役員紹介>

- 委員長
前川玲奈 (スポ3・アメリカンフットボール部)
- 副委員長
松浦淳丈 (文3・ワンダーフォーゲル部)
池真太郎 (経3・硬式野球部)
- 会計部長
鈴木心 (スポ3・剣道部)
- 総務部長
川口実緒 (政策3・アイスホッケー部)
- 渉外部長
高橋克大 (商3・ソフトボール部)
- 広報部長
江川なつき (政策3・スポーツアトム編集局)

<2022年度 同志社スポーツアトム編集局幹部紹介>

- 編集長
田根菜月 (社2)
- 副編集長
杉山舞 (商2)
濱田夏実 (政策2)
- 主務
松井麻衣 (政策2)
- 会計
大西卓月 (社2)
- 営業
清水葉月 (文2)
宮下典 (社2)
- 校閲
大江可憐 (社2)
伊藤千遥 (社2)

重圧に打ち勝った カヌー部 優勝



◆佐藤友香 (ぎとう・ともか)
1999年6月30日生まれ。山形県立谷地高校出身。164センチ。スポーツ健康科学部4年。

「カヌーが大好きという気持ちで前向きにいられた」

「懸けた思い」
カヌー部は、今年も全日本学生カヌー選手権大会で優勝を果たした。優勝したカヌー部員は、優勝を喜び、笑顔を見せる。カヌー部員は、カヌーが大好きという気持ちで前向きにいられた。カヌー部員は、カヌーが大好きという気持ちで前向きにいられた。カヌー部員は、カヌーが大好きという気持ちで前向きにいられた。

強者の秘訣
昨年は、新型コロナウイルスの影響で、練習量が減少した。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

優勝の秘訣
優勝の秘訣は、チームの結束力にある。カヌー部員は、チームの結束力を高めるために、チームワークを大切にしてきた。カヌー部員は、チームの結束力を高めるために、チームワークを大切にしてきた。

今後の目標
カヌー部員は、今後の目標として、世界大会での優勝を挙げたい。カヌー部員は、今後の目標として、世界大会での優勝を挙げたい。

カヌー部の成長
カヌー部は、今年も大きく成長した。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

準硬式野球部
9月27日◆文部科学省主催第73回全日本大学準硬式野球選手権大会
和歌山県立大学が優勝した。和歌山県立大学は、準硬式野球選手権大会で優勝した。和歌山県立大学は、準硬式野球選手権大会で優勝した。

新人部門でも多数の優勝者
ジュニアの活躍もチームを熱くした。カヌー部員は、ジュニアの活躍もチームを熱くした。カヌー部員は、ジュニアの活躍もチームを熱くした。

カヌー部の成長
カヌー部は、今年も大きく成長した。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

カヌー部の成長
カヌー部は、今年も大きく成長した。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

カヌー部の成長
カヌー部は、今年も大きく成長した。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。カヌー部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。



全勝で1部昇格果たす
2部優勝

ソフトボール部
9月23日◆ソフトボール部が優勝した。ソフトボール部は、ソフトボール選手権大会で優勝した。ソフトボール部は、ソフトボール選手権大会で優勝した。

ソフトボール部
ソフトボール部は、今年も大きく成長した。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

ソフトボール部
ソフトボール部は、今年も大きく成長した。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

ソフトボール部
ソフトボール部は、今年も大きく成長した。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

ソフトボール部
ソフトボール部は、今年も大きく成長した。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。ソフトボール部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

その他の結果
フィギュアスケート部
10月23・24日大阪府立臨海スポーツセンター第15回西日本学生フィギュアスケート選手権大会
男子7.8級クラス 優勝 本田ルーカス剛史 (スポ1)
女子7.8級クラス 優勝 藤谷歩未 (高3)

その他の結果
陸上ホッケー部
10月30・31日川崎重工ホッケースタジアム (岐阜県)
第70回男子全日本学生ホッケー選手権大会
ベスト16

その他の結果
自動車部
10月31日オートパーク今庄 (福井県)
令和3年度第2回全関西オートトライアル選手権大会
男子個人優勝 岡崎大悟 (理工2)
女子個人優勝 宮岡由実 (理工4)

その他の結果
ボードセーリング部
11月17～19日奥間プライベートビーチ (沖縄県)
全日本学生ボードセーリング選手権
レディース2位 松浦花咲実 (スポ4)

その他の結果
レスリング部
10月20～22日
キンリンバレッジ周南総合スポーツセンター (山口県)
令和3年度西日本学生レスリング女子選手権大会
女子62kg級3位 島中優子 (社4)

格上相手に健闘
全国の強豪が集まる大会で、カヌー部は格上相手に健闘した。カヌー部は、格上相手に健闘した。カヌー部は、格上相手に健闘した。

大会結果
試合 対戦校 1game 2game 3game 結果
2回戦専 大16-21 21-15 21-12 20:1
3回戦金沢学院大 21-14 21-17 20:0
4回戦筑波大 8-21 16-21 0:2



相撲部
10月10日◆全学生選抜相撲大会
相撲部は、全学生選抜相撲大会で優勝した。相撲部は、全学生選抜相撲大会で優勝した。

相撲部
相撲部は、今年も大きく成長した。相撲部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。相撲部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

再挑戦
相撲部は、今年も大きく成長した。相撲部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。相撲部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。



水泳部
10月7～10日
第97回全日本学生水泳選手権大会
水泳部は、全日本学生水泳選手権大会で優勝した。水泳部は、全日本学生水泳選手権大会で優勝した。

水泳部
水泳部は、今年も大きく成長した。水泳部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。水泳部員は、練習量を確保するために、自主練習を多く行っていた。

支え合ひながら大所帯けん引する



笑顔の右・田村と左・南 (撮影・野村大智)

南

「二人二人の意識が変わらないと日本一にはなれない」
グラウンドに立つ15人が負けると170人が負けたことになる

勝利へ誘う努力の漢

同志社アトム

緞グレ史上初

2人の王者

DOSHISHA RUGBY CLUB 2021 LINK
ラグビー部◆主将
特集◆歴史あるチームで史上初の共同主将制を採用した緒方、田村と南が連携し、約170人の大所帯を1年間引っ張ってきた。チームの力を最大限引き出すために仲間への声掛けは欠かせない。コートがいないグラウンドで緒方の指揮を執り、BKとFWそれぞれの要として攻守ともに補助してきた。新時代を築き上げてきた2人なしに第11代は語れない。

南 光希
(みみなみ) 5月19日生まれ。大阪府吹上高等学校出身。ポジションはSH。身長170cm、体重76kg。スポーツ健康科学部4年。

田村 魁世
(たむら かいせい) 1999年12月15日生まれ。神奈川県横浜学園高等学校出身。ポジションはSH。身長170cm、体重76kg。スポーツ健康科学部4年。

勝利へ誘う努力の漢
フィールドで見せる圧倒的な存在感の裏には人知れぬ努力がある。座右の銘は「努力に勝る天才なし」。その言葉通り、練習では誰よりも長くグラウンドに立ち続ける。ひた向きに自身の課題に向き合い、練習は周囲を巻き立ててきた。

共同主将が新時代の証
新たな時代に同僚野田主将、試合後の使命を果たすため、あらゆる困難を2人で乗り越えてきた。歴史の瞬間をともに迎えた。

南から見た田村
「ラグビーが好きで、大好き。プレーでも一番な」と言う南は、田村の活躍を誇り、チームを引っ張っている印象です。

田村から見た南
「ラグビーが好きで、大好き。プレーでも一番な」と言う南は、田村の活躍を誇り、チームを引っ張っている印象です。

南から見た田村
「めっちゃストイックです。みずみずしい練習後に自主練習するんですけど、練習前に来て自主練習をしないといけません。あんなに食事も気をつけてやっているかな。」

田村から見た南
「めっちゃストイックです。みずみずしい練習後に自主練習するんですけど、練習前に来て自主練習をしないといけません。あんなに食事も気をつけてやっているかな。」

夏炉冬扇
仲間と進むことに勝つ。前に進むための戦士たち。大学生となった今でも、ヒーローたちに憧れを抱いている。同志社では多くの体育会員の選手たちが同志社HEROESとして活躍している。今年もラグビー部で6年ぶりに天理大を撃破し、関西四大学リーグで4年連続優勝を達成した。

【松村 幸】 幼い頃からヒーローに憧れていた。物心がついたとき、初めて出会ったのは、同志社ラグビー部の選手たち。憧れを抱いていた。同志社では多くの体育会員の選手たちが同志社HEROESとして活躍している。今年もラグビー部で6年ぶりに天理大を撃破し、関西四大学リーグで4年連続優勝を達成した。

ワンランク上の技能教習を体験しませんか？

岩倉自動車教習所は「レクサス」で高速教習！

岩倉自動車教習所 0120-55-1890

www.iwakura-ds.co.jp

Doshisha Wins Today

きょうと報知に同志社アトム 参上

京都府のスポーツ情報満載のきょうと報知は、毎月1回、スポーツ報知(宅配・コンビニ販売分)に折り込まれます。

次回は12月24日(金)発行予定です。

そろそろ挑戦 ハワイ留学

セントラルパシフィックカレッジ
1221 Kapiolani Blvd. Suite 740 Honolulu, HI 96814
Tel: (808) 791-7800
Email: info@cpchawaii.edu

最短1週間！隔離なしで行けるプチ留学